

## 将来構想のとりまとめに向けて

【中部国際空港将来構想推進調整会議】

- 設置 2021年7月29日
- 目的 中部国際空港の将来構想について、  
地域関係者が情報を共有し、  
具体的な検討・調整を進める。  
※今年度内にも将来構想をとりまとめる予定



○構成

職名	氏名
愛知県知事 (会長)	大村 秀章
岐阜県知事	古田 肇
三重県知事	一見 勝之
名古屋市長	河村 たかし
名古屋商工会議所会頭	山本 亜土
一般社団法人中部経済連合会会長	水野 明久
中部国際空港株式会社代表取締役社長	犬塚 力

(2021年11月1日現在)

○検討部会

- ・学識経験者、推進調整会議構成7団体の部局長クラスで構成
- ・オブザーバーとして国土交通省も参画
- ・第4回検討部会を11月2日に開催 (第1回：8月30日、第2回：9月30日、第3回：10月18日)

## 中部国際空港 最近の動き

【国内線】



Peach Aviation  
札幌線、仙台線 2020年12月～新規就航  
那覇線、石垣線 2021年1月～新規就航



日本トランスオーシャン航空  
宮古線、石垣線 2021年3月～新規就航

【国際線】



デルタ航空  
デトロイト線 2021年4月～復便



タイ国際航空  
バンコク線 2021年7月～復便

# 中部国際空港の第二滑走路の整備を 始めとする機能強化に関する要請書



2021年11月

愛 知 県  
名 古 屋 市  
名古屋商工会議所  
一般社団法人中部経済連合会  
中部国際空港株式会社

## 中部国際空港の第二滑走路の整備を始めとする機能強化の早期実現について

現在、中部国際空港沖では、名古屋港において発生する浚渫土砂を処分するための新たな埋立地の整備が、豊かな伊勢湾の再生にも取り組むことにより、漁業者の理解を得つつ、国土交通省の港湾事業として進められております。現在は、護岸設置に向けた準備工事が着実に実施されているところです。地域としては、将来的に第二滑走路として活用可能な埋立地の整備が円滑に進むことを期待するとともに、第二滑走路の整備を始めとする将来構想のとりまとめに向けて取り組んでおります。

中部国際空港は、近年の旺盛なインバウンド需要に加え、これまでの地域一丸となった利用促進活動やエアポートセールスの成果もあり、2019年度の航空旅客数は1,260万人、発着回数は11.3万回と、いずれも過去最高を更新しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、非常に厳しい状況となっております。

しかしながら、この地域には、名古屋城や世界遺産である白川郷・熊野古道を始め、外国人にも人気が高い観光資源が豊富に存在するほか、2022年のジブリパークの開業、2026年には第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）の開催も予定されるなど、国内外からこれまで以上に多くの人を呼び込むことができるポテンシャルを有しており、中長期的には、航空需要が確実に伸びていくことが見込まれております。

こうした中、地域では、激減したインバウンド需要を早期に呼び戻し、反転攻勢に出ることでいち早い経済復興を目指して、「第二滑走路の早期実現」という、未来への希望の旗を掲げております。

一方で、現滑走路は、供用開始から既に16年が経過しており、近い将来、大規模補修が必要となることに加えて、今後の航空需要の拡大により、滑走路等のメンテナンス時間の確保も大きな課題となっております。

また、この地域が首都圏・関西圏のバックアップ機能を担う意味でも、中部国際空港の第二滑走路の整備は重要課題であると考えております。

中部国際空港が複数の滑走路を持ち、真の国際拠点空港としての機能を有することは地域の悲願であります。国におかれては、次の各項目について格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

- 1 空港西側の隣接地等に新たな埋立地を整備する「中部国際空港沖公有水面埋立事業」について、環境に配慮しながら、着実な進展を図ること。
- 2 地域と連携して第二滑走路の整備を始めとする空港の機能強化に向けた検討を進めるとともに、地域の取組について、必要な支援を行うこと。
- 3 新型コロナウイルス感染症により甚大な影響を受けている航空・空港関連企業の経営基盤強化に向けて、必要な支援を行うこと。
- 4 東海三県始め中部地域の主要都市、観光地から空港への道路・鉄道等のアクセスの充実に向けて、必要な措置を講じること。

2021（令和3）年11月

愛知県知事

大村 秀章

名古屋市長

河村 たかし

名古屋商工会議所会頭

山本 亜土

一般社団法人中部経済連合会会長

水野 明久

中部国際空港株式会社代表取締役社長

犬塚 力